

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	本谷 貴 伊藤 循	使用教科書「詳説 日本史」(山川出版社) 補助教材 「新編 史料日本史」(東京法令出版) 「新詳日本史」(浜島書店)
必修 ○学校必修 必修選択 自由選択		

◆学習の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

◆主な学習内容・方法

- (1)「原始・古代の日本と東アジア」等については「歴史総合」の学習成果を生かし、資料集などを活用し、生徒が問いを表現する。
- (2)「近世の日本と世界」「近現代の地域・日本と世界」については講義や史資料読解などによりを題を追究したり解決したりする活動をしながら、必要な知識や技能を身に付ける。

◆到達目標と観点別評価の評価規準

〔標準〕

- 日本の歴史の大きな枠組みと展開を構造的に理解し、時系列上での確に把握する。
- 事象の内容や事象間の因果関係を的確・簡潔に表現できる。

〔応用〕

- 歴史的に形成された現在の諸課題を多面的・多角的に考察し、その課題の解決を視野に入れて構想したりする力を身に付けるとともに考察や構想したことを的確に表現する力を養う。

〔観点別評価の評価規準〕

○知識・技能

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

○思考・判断・表現

我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。

○主体的に学習に取り組む態度

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

◆年間予定授業時間

予定時数	70 時間	2 学期 (40 時間)	3 学期 (30 時間)
------	-------	---------------	---------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

<ul style="list-style-type: none"> ・予習・・・教科書の「問い」に着目しながら通読し、「問い」に対する自分の仮説をたてる。 ・復習・・・教科書やプリント、資料集等を関連させて、学習した内容を整理する。 ・課題・・・「問い」に対する自分の仮説を検証しながら「問い」を解くとともに、新たな「問い」をつくる。 ・その他・・・補習や夏季講習なども活用することを勧める。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
2 学期	8	・日本文化のあけ ぼの	1	文化のはじまり	我が国の近代国家の成 立に関する歴史の展開に 関わる諸事象について、 地理的条件や世界の歴史 と関連付けながら総合的 に捉えて表現できる。
	9	・原始・古代の展 望	2	古代社会と海外の交流 木簡から古代国家を探る 幕府の滅亡と新政府の発足 五箇条のご誓文と国是	
		・近代国家の成立 と展開	10	明治維新と富国強兵 立憲国家の成立 日清・日露戦争と国際関係 第一次世界大戦とワシントン体制	
	10	・近代の産業と生 活	5	近代産業の発展 市民生活の変容と大衆文化	
	11			・恐慌と第二次 世界大戦	
		12	・占領下の日本	10	
3 学期	1	・高度成長の時代	20	経済復興から高度経済成長へ 経済大国への道	持続可能な社会の実現 を視野に入れ、主題を設 定し、諸資料を活用して 探究する活動を通して、 我が国の課題の形成に関 わる歴史と展望について 多面的・多角的に構想し て表現できる。
	2	・激動する世界と 日本	7	冷戦の終結と日本社会の変容	
	3	・現代日本の課題 の探求	3	様々な災害と日本	

